

千五百番新合十者平

曾占后家大夫御成

くつ境乃らるるふくはる

ほろこはあはれとあはれ

みりゆり

備政お政大后家お首平

かんゆり

あやめ

あやめ

あやめ

あやめ

あやめ



湖と屯と

富内郷

あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる

藤原定家朝臣

あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる

あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる

武子内親王

あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる

いほろいほろ
あはれはら

尹 西

笑 海

人 乃

と 申 け

い ぬ

い ぬ

崇武部

う ぬ

い ぬ

い ぬ

子 又

橋 政 政

あ ち

あわやまのついでに
月をいふはは
ま川長
百首新

兼子内親王

よきこと
ほろいす
よのこ

類
す

兼子内親王

よきこと
ほろいす
よのこ

建仁元年三月

山家集

うた内心

いふ海あるをきくはまのあはれ

きくはまのあはれとて

うた内心

皇秋門流母後

よすきくはまのあはれ

よのあはれとて

月あはれとて

百首新

式子内親王

いふ海あるをきくはまのあはれ

きくはまのあはれとて

うた内心

入道前用白右大臣のあはれ

お家平のあはれとて

お家平の雷はよら

床蓮法師

あかりのしめと朝の人の

まはるはくみやのさくら

いさよめ

深夜閑雷とくま

あつた

あつたねえの

あつた

あつた

寛永十三年林鐘上旬

中宮様御書